

## 日米地協定抜本的改定の国会請願署名 合計 14万 1846 人分 ( 今回 3万 3175 ) 提出

井上議員(右から3人目)に署名を提出する参加者



提出にあたり、東森英男事務局長は「最近の動向でも、米軍基地からの有機フッ素化合物の流失事故や、在日米軍からの新型コロナ感染の拡大など、アメリカ言いなりの日米地位協定抜本改定の重要性は増している」と述べ、今後も運動を広げる決意を表明しました。

日本共産党の井上哲士参議院議員が提出行動に参加し、日米地協定の抜本的改定への連帯あいさつで激励。

木下興事務局長次長(全日本民医連)が井上議員に署名を提出。その後、沖縄選出の野党国会議員を訪問して、署名を手渡しました。

安保中央は、引き続き日米地位協定の抜本的改定を求める国会請願署名にとりくんでいきます。

安保破棄中央実行委員会は11月25日、衆院第2議員会館で日米地位協定の抜本的改定を求める国会請願署名を、今年6月3日の約10万8千名分の提出に続き、今回3万3175名分を提出しました。合計で14万1846名分に達しました。

### 「敵基地攻撃」と大軍拡に反対する12.4学習会

- 時間 12月4日(金) 13時30分~15時30分
- 場所 衆議院第2議員会館・多目的会議室
- 方式 会場参加とネット視聴を組み合わせた「ハイブリッド型」
- 主な内容
  - 識者からの敵基地攻撃課題でのコメント
  - ・憲法から見た「敵基地攻撃」の問題点  
日本体育大学教授(憲法学) 清水雅彦さん
  - ・敵基地攻撃能力とは(軍事面から)  
ジャーナリスト・軍事評論家 前田哲男さん
  - ・2020年概算要求から見た大軍拡予算の問題点(財政から)  
安保破棄中央実行委員会常任幹事 小泉親司さん

オンラインでの視聴については後日お知らせします。

主催 国民大運動実行委員会 安保破棄中央実行委員会 憲法共同センター 憲法会議 日本平和委員会

オンラインでのシンポジウム



3名のシンポジストが  
発言。前泊博盛さん 沖縄国際大学教授) は沖縄

人が参加しました。

日米地位協定問題シンポジウムが11月25日、参議院議員会館で総がかり行動実行委員会の主催でオンライン(ユーチューブ配信)開催されました。沖縄をはじめとする米軍事件や事故、基地被害などの関わり、問題点を明らかにするとともに、政府の姿勢など政治状況についての認識を深め、抜本的改定への課題を探ることを目的に開かれたものです。

の現状と日米地位協定の問題点を米兵犯罪・法の下の不平等など7点にわたって告発。吉田敏浩さん、ジャーナリスト)は、日米地位協定と日米合同委員会の関係を米軍優位の日米合同委員会の密約にあることを説明。寺崎昭義さん、舂舟連人権擁護委員)は日弁連の日米地位協定意見書について歴史の経過を含めて解説。政党からは沖縄の風、立憲民主党、日本共産党の各代表の国会議員が挨拶。シンポジウムには、会場とユーチューブ視聴者を含め百

日米地位協定問題シンポジウム  
在日米軍「特権」を告発、抜本改定運動を

### 12月の安保中央常任幹事会

12月9日(水) 午後4時からオンラインで開催します。詳細は後日、連絡します。